

令和7年度 佐賀市エコプラザ運営委員会 議事概要

【開催日時】 令和8年2月2日（月） 10時00分～11時20分

【開催場所】 佐賀市エコプラザ 2階大会議室

【委員】 (敬称略)

中山政弘（委員長）、田中和生（副委員長）、香田清博、城添正弘、高橋朋子、中村佳代、中村美枝子、西村洋子、深川千幹、三浦由美子

【事務局】 馬場環境部長、梶山環境副部長、山本環境政策課自然環境係長、福田循環型社会推進課3R推進係長、竹島、加藤、林

【エコプラザ委託業者：特定非営利活動法人さが環境推進センター】 藤井、荒木

【傍聴者】 なし

10時00分 開会

【議事内容】

議題1 佐賀市のごみ処理の状況について（事務局から説明後、意見交換及び質疑応答）

【質疑】 プラスチックの分別回収について教えてください。

【回答】 令和7年8月からプラスチック資源の拠点回収をしています。校区公民館を中心として市内33カ所で回収しております。回収しているものは、プラスチックのみでできているもので、汚れていないきれいなものです。

【意見】 私もプラスチック資源分別回収に積極的に取り組んでいるので、燃えるごみの袋に入れる量が減りました。公民館に持って行くと、たくさん持って来られているので、意識が高いと思います。維持できるように取り組んでいただきたいです。

【質疑】 家庭版3010運動とはどのようなものですか。

【回答】 家庭版3010運動とは、毎月30日と10日をもったいないデーとして、家庭でできるもったいないを実施し、食品ロスを削減する取り組みです。

令和6年度に実施したごみ組成調査の結果、家庭から出る燃えるごみの約3割が生ごみでした。そして、生ごみとして出されたものの約半分は手付かず食品や食べ残しでした。その結果を受け、食品ロスに関する普及啓発を佐賀市環境基本計画の中に掲げております。

【質疑】 ごみ排出量は減少傾向ですが、佐賀市が全国平均・県平均より多い原因は何ですか。

【回答】 県庁所在地などは、事業所も多いので、1人1日当たりになるとごみ排出量が多くなる傾向があります。ただ、佐賀市と同じぐらいの規模でも佐賀市より少ないところがあるので、今後ごみの減量をしていく必要があります。

【質疑】 プラスチック資源の回収は非常に良いことだと思いますが、（燃えるごみから）プラスチックを取り除くことで、燃焼効率が悪くなり、その分使用する燃料が増えるというマイナスな要素が発生するのではないかなと思います。その点はどうでしょうか。

【回答】プラスチック資源は、8月から12月末までで約17トン集まりました。3月末までに約30トン集まる予定です。

1年間の回収予定量は多くても50トンです。全体のごみ量からするとわずかな量のため、燃焼に影響はないと考えています。

議題2 令和7年度佐賀市エコプラザ事業実績の報告について（事務局から説明後、意見交換及び質疑応答）

【質疑】施設見学の中学、高校、大学からの団体見学が減少してますが、理由はあるのでしょうか。

【回答】見学者数減少の理由は不明です。1月には、教育学部の大学生が指導案を作る目的で、個人見学で多くの方が来館されました。

【質疑】幼稚園・保育園からの団体見学は、見学に来られた時どのようなことをして過ごしているのでしょうか。

【回答】園児の方たちには、詳しい説明は難しいと思いますので、分別の簡単な説明をしたり、少人数のクラスに関しては、体験しながら学習できるスペースで対応したり、ちょっとしたゲームを使ったりして対応しています。

【意見】学校見学からエコプラザの見学に来られるという話があったので、子どもたちを通して大人も変えていくということも可能なと思いますので、今後も環境啓発を続けていただきたいです。

【質疑】出前授業は小学校でされているのですか。

【回答】出前授業は小学校に出向いて行っております。荏原環境プラント株式会社や一般財団法人日本環境衛生センター、株式会社 JEPLAN から講師に来ていただき、大学生のサポーターの方や佐賀市職員と一緒に伺います。電力の地産地消は2コマ分、ペットボトルのリサイクルは1コマ分時間をいただいております。費用は無料で、こちらで授業の準備を行います。事前の打ち合わせを学校の先生方と一緒にさせていただいております。

【意見】会社では活動を行っていますが、個人としてはまだまだのところがたくさんあると思います。社内でも広報活動を行っていききたいと思います。

【質疑】ゆかたの着付けレッスンの参加が少ないので、こども夏祭りとコラボして、ゆかたを着せてあげた後、夏祭りに参加するといった内容にすると、子ども達もすごく喜ぶのではないかと思います。

【回答】こども夏祭りの時にコラボというのではないが、佐賀城下栄の国まつりに合わせて、ゆかた着付けレッスンをしており、来年度もその予定にしております。

議題3 今後の展開について（事務局から説明後、意見交換及び質疑応答）

【質問】幼稚園・保育園の子どもたちが受けられるプログラムは、「依頼があれば実施できると考える。」で止まっていますが、プログラムがあるということを広報して欲しい。

- 【回答】 大人向けのごみ分別ゲームのレベルを簡単にすることで、幅広い年代の方が利用できるゲームになるのではないかと考えていますが、まだプログラムはありません。幼稚園生・保育園生向けに「もったいないとありがとう」という紙芝居を作成しているので、複数の内容を組み合わせて出前授業にできたらと考えております。幼稚園や保育園の先生方にご意見いただきながらプログラムを完成できればと思っております。
- 【意見】 海外の方は、別の視点でエコプラザを見ていました。見学に来られた方にアンケートを取ったり、質問やインタビューをしたりして、エコプラザの通信等に紹介すると、非常に実績としても素晴らしいのになるのではないかなと思います。
- 【意見】 公民館の出前講座を大人の方だけでなく親子で参加できる講座にしたり、地域の子どもクラブと連携したりすることで、子どもたちが学べる機会をぜひ増やして欲しい。
- 【意見】 出前授業や出前講座について、校長会や公民館長会、子どもクラブの代表が集まる会議などで発信すると、より広まると思います。